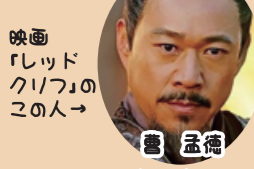


花本 隆資プロフィール

名前	花本 隆資(はなもと たかし)
生年月日	1984年2月10日 (30歳)
血液型	A型 ですが几帳面ではありません
家族構成	嫁、息子 嫁は三歳年上の金の草鞋です(年上の女房は金の草鞋を履いてでも探せという意味らしいです)息子は2歳3ヶ月(僕にそっくりで世界で一番かわいい)
長所	ポジティブシンキング・傷付き、打ちのめされても、這い上がる自信がある (社員曰く)
短所	熱し易く、冷め易い
出身	広島県尾道市
趣味	気になった歴史上の人物を調べる・投げ釣り・ゴルフ (釣りとゴルフは最近忙しくて行けてませんが…)
好きな歴史上の人物	坂本龍馬・織田信長・曹孟徳(曹操) 3人の共通点は常識に囚われない考え・行動力に魅力を感じています
古美術品で一番好きなもの	やっぱり鎧です。当時の日本の技術(鉄を鍛えたり、漆を塗ったり、糸を染めたり金工細工をしたり)を全て集約している点と日本刀、槍、薙刀(なぎなた)、弓と違って自身を守る為に作られたものだからです。ですが日本刀、槍、薙刀(なぎなた)弓があっただけで産まれたものでもありますが…



お客様のコメント

会社移転、おめでとうございます。広島に行く機会がありましたらお店を拝見しに伺います。(T様より)

ありがとうございます。是非、是非！遊びに来てください。スタッフ一同お待ちしております。(スタッフ一同)

社長さんの歴史に対する、熱い気持ちが伝わってきました。ちなみに西郷隆盛という人物は謎の多い人のようです。(N様より)

西郷隆盛の逸話には色々面白いものが残っていますよね。ニュースレターにはスペースが無く書けなかったのですが、明治政府の役人として重要なポストにいた西郷はある重要な会議の時間になっても全然会議場に姿をみせず…心配した役人が西郷の自宅へ使いを送ったそうです。そしたら西郷は自宅の縁側に座って、のんびりお茶を飲んでいました。使いの者が「何をしていますか？」と尋ねると「一枚しかない外出用の一張羅の洋服か着物を干して乾くのを待っている」と答えたそうです。すご～いマイペースな性格にも笑えますが…明治政府の高官だった西郷が立派な洋服か着物を一着しか持っていなかったというエピソードにびっくりしました！コメントありがとうございました。(花本)

ありがとうございます。社長は歴史を語りだすと話が止まりません(笑)N様からコメントを頂き、とても嬉しかったです。また、歴史で発見した事があればご教授して下さい。(中堀)

刀の所有者変更はどうしたらいいのですか？

ありがとうございます。所有者変更届の用紙を商品と一緒に同封しております。用紙に従って記入して頂き、登録書に書かれております都道府県の教育委員会へ提出下さい。分からない事があればお気軽にご連絡下さい。(中堀)

たくさんのコメントありがとうございました。弊社に対してのコメント・質問などありましたら、下記のご連絡先にお気軽にご連絡ください。

—経営理念—

有限会社大名は「届けますっ大和魂！」を合言葉に日本の歴史、古美術を発信し貴方(お客様)の趣味を応援するタイムマシーン企業を目指します



—目次—

- 1 記事の思い
- 2 歴史・大久保利通編
- 3 商品がお客様のお手元に届くまで
- 4 花本隆資プロフィール
- 5 お客様のコメント

記事の思い

いつも有限会社大名を御利用頂き、ありがとうございます！
有限会社大名の花本隆資(はなもとたかし)

です。

大名物語というニュースレターを2013年8月から隔月に一回づつ発行してまいりました。皆様にもっと身近に有限会社大名を感じてもらいたい、知ってもらいたいという思いで始めた大名物語もはや一年が経過しました。

ここまで続けてこれたのも、皆様からの沢山の暖かいお言葉のお陰です、ありがとうございます。この度、有限会社大名はホームページのリニューアルに合わせて、ニュースレターも一緒にリニューアルすることになりました。

何故リニューアルしたかという、有限会社大名もお陰様で11年目に突入し、ただ単に古美術品を売るのではなく、古美術品の背景の歴史を売っていく企業になっていきたいと考えたようになったからです。その為、ニュースレターの名前も「大名物語」から「届けますっ！大和魂」へ改めました。

もっとお客様と共に歴史を語り、共にその時代へタイムスリップしていきましょう！

上記の理念の下、今後ともニュースレターを通じて、僕やスタッフのプライベートな事から、古美術品・歴史・歴史上の人物の情報を発信していきますので、宜しく御願います！

大久保利通 (おおくぼ としみち)

～西暦1830-1878年(明治11年)～

4月号、6月号では熊本城、加藤清正さん、西郷隆盛さんについて、語らせて頂きました。西郷隆盛さんについて語ったら、親友だったと云われる大久保利通さんも外せませんね。

大久保利通は西郷隆盛(薩摩藩)、木戸孝允(長州藩)と並び**維新三傑**と呼ばれています。西郷さんと同じ**薩摩藩(鹿児島県)出身**で身分も同じ**下級藩士出身**です。

薩摩藩12代で最後の藩主・島津忠義(しまづただよし)の父で後見人である島津久光(ひさみつ)が薩摩藩内での勢力拡大の為、大久保利通、西郷隆盛ら中下級藩士達を重用しました。島津久光と西郷隆盛は反りが合わなかったようですが、大久保利通は久光の側近にまで大出世を果たしています。

島津久光は兄で11代薩摩藩藩主・斉彬(なりあきら)の意志を継ぎ、公武合体運動(こうぶがたい)を推進します。公武合体とは、簡単にいうと天皇をはじめとする朝廷と徳川幕府が一致団結して、開国を要求する外国を排除しようみたいな事です。その為、孝明天皇(こうめいてんのう)の妹・和宮(かずのみや)が14代将軍・徳川家茂(いえもち)に降嫁されました。

幕府側は幕府の体制の立て直しを狙い、雄藩(藩内での財政改革に成功して経済力をつけ、発言力を強めた有力な藩)はこの機会に主導権を幕府から雄藩へ移行しようと狙っていました。

お互いの目的が違うので公武合体運動はうまくいかず、薩摩藩としては**武力倒幕運動(武力に拠り徳川幕府を倒し、天皇を中心とした政権を築く)**に方向転換していきます。



◆明治維新後

同じく武力倒幕派の長州藩(山口県)と薩長同盟を結びましたが、徳川幕府は大政奉還(政権を朝廷に返す)をした為、雄藩の正当性が失われてしまいました。

大政奉還(たいせいほうかん)により、武力討伐する大義名分を失った薩摩藩をはじめとする雄藩(新政府)は、倒幕派の全国の浪人達に江戸で略奪、暴行等をさせ江戸の幕臣達(徳川幕府に仕える武士)を挑発し、我慢出来なくなった幕府側の反撃から**戊辰戦争**が起こりました。



◆明治元年頃

戊辰戦争に勝利した、雄藩からなる新政府(明治新政府)が政権を樹立しました。

明治新政府で大久保利通は**版籍奉還(はんせきほうかん: 諸大名の領地を天皇に返還)**、**廃藩置県(はいはんちけん: 藩を廃止し、地方の統治を現在の県、府に変更)**等の中央集権体制確立に尽力しました。現在まで続く、**日本の官僚の基礎は大久保利通によって築かれた**そうです。

中央集権、官僚の基礎を築いた政治家なら、もの凄い私財を蓄えたのだらうと想像しますが、死後に残ったのは莫大な借金だったといわれています。

公共事業に私財を投じたり教育の為に私財を寄付したりと、**現代の政治家の方々と比べたら、言葉が出ません。**本当に日本という国の事を考えていたのだと伝わってきますね。

西郷隆盛の一枚しかない一紙羅の逸話もお客様のコメント(裏面)のところで紹介しましたが、大久保利通や西郷隆盛の二人と比べたら、政務活動費(議員報酬とは別に調査研究活動等に支給される費用)で温泉行きまくったのか、違うことに使ったのか分かりませんが、号泣会見をおこなった野々村兵庫県議会議員には腹が立ちました。

命を懸けてまで、日本を良くしようとした日本の歴史上の人物達はどんな気持ちで見えていたのでしょうか。

本当に国、地元の為にとおもう方に議員さんになって頂きたいです!



～商品がお客様のお手元に届くまで～

仕入編

仕入れ担当の花本隆資(はなもとたかし)です。まず商品の仕入れをしないと何も始まりませんよね?! 僕は現在、業者専門の武具市場(主に鎧、鎧の部品等)、刀剣市場(主に刀剣、刀装具等)、骨董市場(主に茶道具、掛軸等)の市場に月に10日程度、仕入をしています。他には市場で知り合った業者さんから直接仕入れたりもしています。

- 市場ではずら～っと並んだ大量の物の中で気になる物を一点一点自分の目で確認し、値踏みをします。
- 競り台に上がった商品を他の業者さんと一緒に金額を声に出し、競り落とします。
- 購入した商品を車に積み、安全運転で事務所に帰ります。



値踏みしていた値段よりも安かったり、高かったり、競り落とせなかったり、色々ありますが、お客様に喜ばれる商品を提供出来るように心がけています。

◆岡山の市場



◆広島市場

写真撮影編

写真撮影担当の中堀明美(なかぼりあけみ)です。皆様、写真を見て購入して下さるよね?!

- 埃や汚れが目立つ商品は、拭いて綺麗にします。
- 仕上がった商品を撮影します。
- 写真撮影した商品をパソコンで確認します。
- うまく撮影出来てない商品は撮り直します。

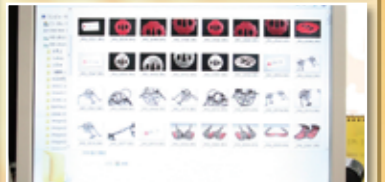
通信販売の場合、商品を購入していただく際、一番重要なのは写真だと思っています。商品の長所はもちろん、欠点も分かりやすく、写真と実物が違わないような写真撮影を心掛けております。



1.商品の汚れを落とします



2.写真撮影



3.撮影をした写真を確認します

梱包編

梱包担当の島谷貴子(しまたにたかこ)です。いよいよ、商品がお客様のお手元へ!!

- お客様が落札された商品を梱包場へ移動する
- 落札された商品と合っているかを再度確認する
- 壊れないように丁寧に梱包する
- 「感謝」カードを同封する
- ラベルを貼り、**こわれもの**のシールを貼る
- 郵便局・ヤマトさんが集荷に来られて、皆様のお手元に届きます。

私が日々気を付けている事は、お客様が落札された商品が、無事にお手元に届くよう丁寧に包装することです。郵送会社から受け取り、中を開けてみると壊れていた・落札した商品と違う等、お客様にご迷惑がつかないように心掛けています。



1.商品を梱包場へ移動します



2.落札された商品かを再度確認します



3.段ボールにエアキャップ等をつめ梱包します



5.壊れ物シールなどを貼ります



4.感謝カードを入れます



6.出荷します